

障害の理解

問題 87 ICF (International Classification of Functioning, Disability and Health :

国際生活機能分類)の社会モデルに関する記述として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 障害は、個人の問題である。
- 2 障害は、病気・外傷などから直接的に生じる。
- 3 障害は、専門職による個別的な治療で解決する。
- 4 障害は、環境によって作り出されるものである。
- 5 障害への対処では、個人のよりよい適応と行動変容が目標とされる。

問題 88 障害福祉計画において、ノーマライゼーション(normalization)の理念に

沿って設定されている成果目標として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用する交通機関の整備
- 2 ADL (Activities of Daily Living : 日常生活動作)の自立
- 3 身体機能の回復による社会復帰
- 4 疾病や障害の管理
- 5 福祉施設の入所者の地域生活への移行

問題 89 「ソーシャルインクルージョン(social inclusion)」を説明する内容として、
最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 本人の利益のために、本人に代わって意思決定をすること
- 2 全人間的復権のこと
- 3 共に生き、支え合うこと
- 4 障害者の「強さ」に着目して支援すること
- 5 権利擁護や代弁をする活動のこと

問題 90 高次脳機能障害(higher brain dysfunction)の主な症状の1つである社会的行動障害に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自分で計画を立てて物事を実行することができない。
- 2 2つのことを同時にしようとして混乱する。
- 3 新しいことを覚えられなくて何度も人に聞く。
- 4 ちょっとしたことでも感情を爆発させる。
- 5 人に指示をしてもらわないと動けない。

問題 91 自閉症(autism)の特性に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 対人関係の形成に障害がある。
- 2 読む、書く、計算することが苦手である。
- 3 知的機能の発達に遅れがみられる。
- 4 集中力がない。
- 5 思考の流れに関連性や統一性がない。

問題 92 G君(12歳, 男性)は現在, 小学校に通学している。小さい頃から, 集中力が乏しい, じっとしてられない, 順番が待てないなどの症状が指摘されていた。また, このような行動に対して友人や周囲の大人から注意を受けることが多く, 自信が持てないでいた。心配した母親は, 紹介を受けて発達障害者支援センターに相談することにした。

G君に対する支援方法の助言として, **最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 一度に多くの指示を伝える。
- 2 他者との交流を回避する。
- 3 集中できる環境をつくる。
- 4 比喩を用いた会話を促す。
- 5 視覚に強い刺激を与える。

問題 93 言語機能障害を来す難病として, **最も可能性の高いものを1つ**選びなさい。

- 1 潰瘍性大腸炎(ulcerative colitis)
- 2 悪性関節リウマチ(malignant rheumatoid arthritis)
- 3 こうじゅうじんたいこつかしょう後縦靱帯骨化症(ossification of posterior longitudinal ligament)
- 4 クローン病(Crohn disease)
- 5 脊髄小脳変性症(spinocerebellar degeneration)

問題 94 適応機制の1つである「退行」に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 認めたくない欲求を心の中に抑え込もうとする。
- 2 欲求を価値の高い行為に置き換える。
- 3 適当な理由をつけて、自分を正当化しようとする。
- 4 発達の未熟な段階に後戻りして、自分を守ろうとする。
- 5 苦しくつらい現実から逃げることで、一時的に心の安定を求める。

問題 95 相談支援専門員の業務として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 障害支援区分の審査判定を行う。
- 2 就労に必要な能力を高める訓練を行う。
- 3 サービス等利用計画を作成する。
- 4 個別支援計画を作成する。
- 5 外出時の移動介護を行う。

問題 96 Hさん(女性)は、長男 J君(3歳)が通園中の保育所の保育士から、「J君は言語などの発達に遅れがあるようだ」と伝えられた。子どもの将来に不安を感じたHさんは、知り合いの介護福祉職に相談した。

介護福祉職がHさんに対して行うアドバイスとして、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 子どもの発達の状態を見守る。
- 2 児童発達支援センターに相談する。
- 3 児童相談所の判定を受ける。
- 4 障害児保育の申請を行う。
- 5 居宅介護事業所を紹介する。